

『PCA ソフト』を運用しているサーバーの入れ替えについて

◆EasyNetwork・SQL 版をご利用の場合

(画面例はすべて「PCA 会計 DX EasyNetwork」を使用しています。)

『PCA ソフト』を運用しているパソコンの入れ替えについて、以下の【操作手順】を参考に実行してください。

なお、操作を行う前に必ず**《事前の確認事項》**をご確認ください。

《事前の確認事項》

- 新しいパソコンで Windows Update を行い Windows や Office などの更新プログラムをインストールして、コンピューターを最新の状態にしてください。
- ホームページからダウンロードした『PCA ソフト』にはデータベース (SQL) が含まれておりません。お手元に届いているプログラムディスク (DVD) からデータベース (SQL) をインストールしてください。
なお、プログラムディスク (DVD) が古いパソコンのリビジョンより低い場合は、同じリビジョン (または、上位のリビジョン) へアップデートする必要があります。
- 会計事務所等、他社とバックアップデータのやり取りをされていて、古いパソコンで確認したリビジョンより上位のリビジョンをインストールした場合は、やり取りをされている会社でも上位のリビジョンにアップデートする必要がありますので、ご注意ください。
- 「オプション製品」「ソリューション製品」などをご利用の場合は、該当製品のインストールが必要になりますので、事前に PCA 販売パートナー、ソフトメーカー、サポートセンターのいずれかに操作手順についてご確認ください。
- 新サーバーにインストールした『PCA ソフト』が、旧サーバーのリビジョンより上位の場合は、クライアントの『PCA ソフト』を新サーバーと同じリビジョンにする必要があります。

《操作の流れ》

1. 旧サーバーで『PCA ソフト』のバージョンを確認します。
2. 旧サーバーで [システムユーザーの登録] 内容を確認します。
3. 旧サーバーで「データ領域の一括バックアップ」を実行します。
4. 新サーバーでデータベース (SQL) と『PCA ソフト』をインストールします。
5. 新サーバーで【2.】と同じ内容を [システムユーザーの登録] に登録します。
6. 新サーバーで「データ領域の一括リカバリ」を実行します。
7. 新サーバーでファイアウォールへの例外設定を行います。
8. 各クライアントパソコンで『PCA ソフト』の接続先変更します。

【操作手順】

1. 旧サーバーで『PCA ソフト』のバージョンを確認

- ①『PCA ソフト』を起動し、ツールバーの「(PCA) バージョン」ボタンをクリックしてバージョンとリビジョンを確認してください。確認後 [OK] ボタンをクリックします。



2. 旧サーバーで「システムユーザーの登録」内容を確認

②「セキュリティ」－「システムユーザーの登録」で [ユーザーID] [ユーザー名] [ユーザー略称] [ユーザーレベル] を確認します。

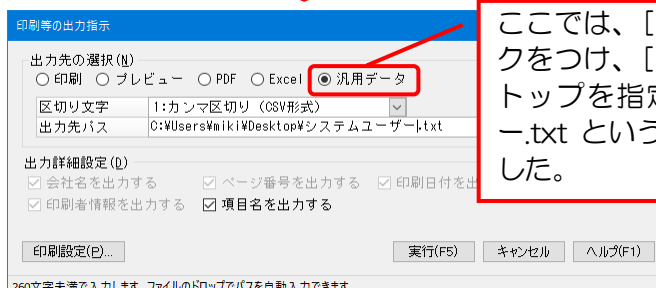
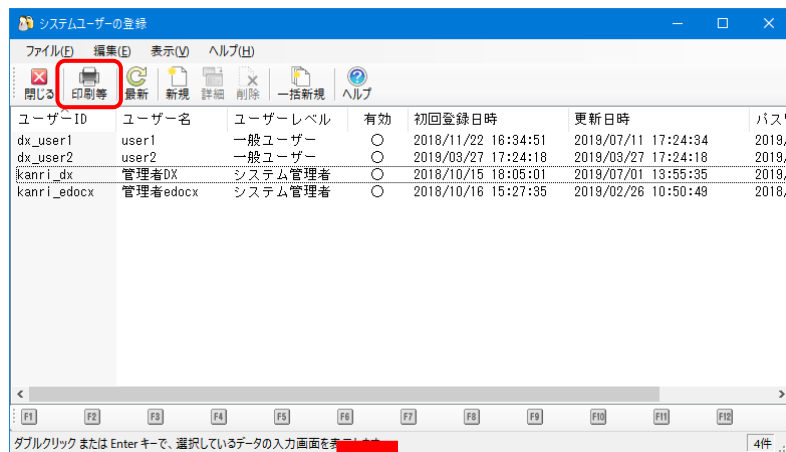
同じ [ユーザーID] 等を新しいサーバーで設定する必要がありますので、内容を控えていただくか、以下の操作手順を参考に汎用データを作成します。

なお、ここで控えた内容（または、汎用データ）は、【5.】で登録します。作成した汎用データは、共有フォルダなどに移動し、新サーバーで参照できるようにしてください。

【「システムユーザーの登録」で汎用データを作成する方法】

※アプリケーション認証方法が [OS 認証] の場合は、事前にサポートセンターまでご連絡ください。
[独自認証] の場合のみ、以下の操作にお進みください。

[印刷等] ボタンをクリックし、「システムユーザー登録リスト」を起動して、汎用データを出力します。

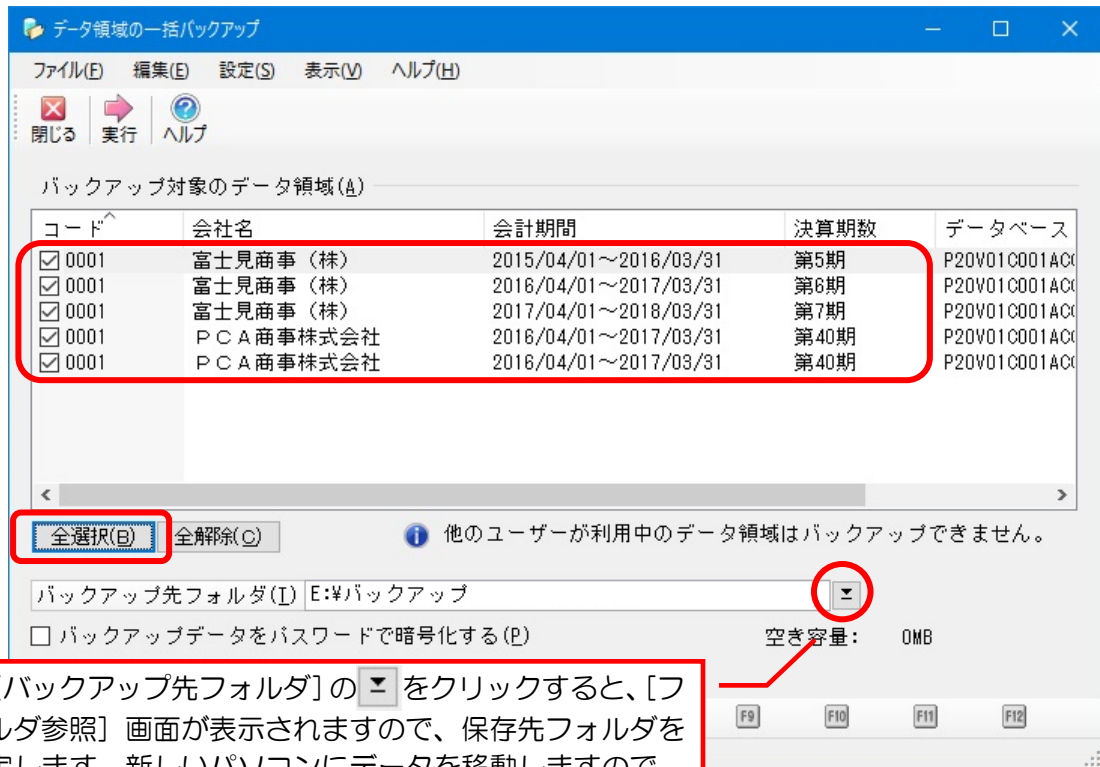


ここでは、[汎用データ] にチェックをつけ、[出力先パス] にデスクトップを指定し、システムユーザー.txt というファイル名を設定しました。

3. 旧サーバーで「データ領域の一括バックアップ」を実行

① 「ファイル」－「データ領域の一括バックアップ」を起動します。

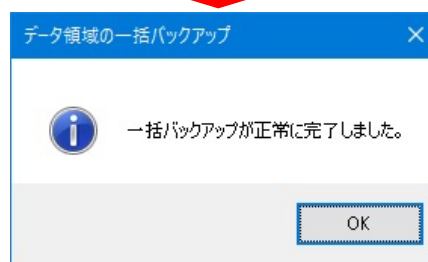
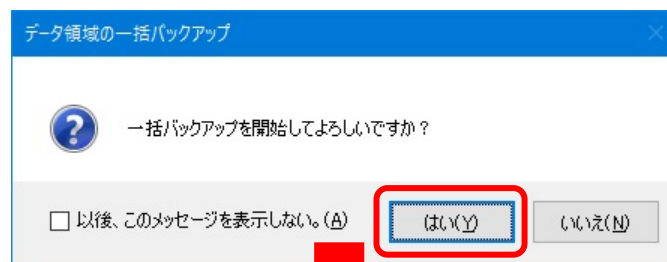
② [バックアップ対象のデータ領域] が表示されますので、[全選択] ボタンをクリックし、全ての領域にチェックを付けます。



③ [バックアップ先フォルダ]の ▾ をクリックすると、[フォルダ参照] 画面が表示されますので、保存先フォルダを指定します。新しいパソコンにデータを移動しますので、USB ドライブなどに保存することをお勧めします。

画面例では、Eドライブに [バックアップ] というフォルダを作成し、[バックアップ先フォルダ] として指定しています。

④ [実行] ボタンをクリックし、以下のメッセージは [はい] をクリックし、完了のメッセージが表示されるまでお待ちください。



完了後、『PCA ソフト』を終了します。

4. 新サーバーでデータベース (SQL) と『PCA ソフト』をインストール

インストールの操作手順については、『PCADX シリーズ』セットアップ説明書、『PCAX シリーズ』セットアップ説明書を参考に実行してください。

【事前にご用意していただくプログラム等】

EasyNetwork 版	SQL 版
『PCA ソフト』プログラムディスク (DVD) 『PCA ソフト』製造番号	データベース (DVD) 『PCA ソフト』プログラムディスク (DVD) 『PCA ソフト』製造番号 『PCA ソフト』ライセンスキーカード

【インストール後のご注意】

『PCA ソフト』のプログラムディスク (DVD) が【1.】で確認したバージョンより低い場合は、以下の操作手順を参考にアップデートしてください。

プログラムディスク (DVD) が【1.】と同じバージョンまたは、上位の新しいバージョンの場合は、以下の操作を行う必要はありません。【5.】へお進みください。

①PCA ホームページより最新のプログラム、必要に応じてマニュアルをダウンロードします (製造番号・電話番号が必要です)。

https://ssl.pca.co.jp/vol6_soft_download/mailTopMenu.asp

②ダウンロードしたプログラムファイルをローカルドライブに保存し、実行すると自動的にセットアップウィザードが起動します。

③プログラムのアップデートを実行します。

④アップデート完了後に「システム領域の作成・更新」が表示される場合は、ウィザード画面に従って実行してください。

5. 新サーバーで【2.】と同じ内容を [システムユーザーの登録] に登録

①『PCA ソフト』を起動すると、「ユーザー登録のお願い」画面が表示されます。

「PCA 認証コード」の取得 ボタンから、[PCA 認証コード申請用キー (10 桁)] を確認し、認証コード発行 URL (<https://ssl.pca.co.jp/kg/>) より「PCA 認証コード」を取得し、登録してください。

ユーザー登録のお願い

この度は、ピーシーエー製品をご購入いただき誠にありがとうございます。
弊社では、お客様に安心して製品をご利用いただくために、ユーザー登録をお願いしております。
ユーザー登録していただくことにより、

- ・製品の交換に関するご案内
- ・新製品情報のご案内
- ・サポート終了やメンテナンス終了に関するご案内

など、ピーシーエー製品に関する情報を提供させていただきます。

<既に登録している場合>
ボタンを押して「PCA認証コード」を取得していただき、下の欄にご入力ください。
「PCA認証コード」の取得

PCA認証コード:

31日以内にPCA認証コードをご入力ください。
期限までに入力されない場合、PCAソフトが起動できなくなります。

<ご登録がお済みでない場合>
ユーザー登録には下記の方法があります。いずれの方法でご登録をお願いいたします。

- ・インターネットに接続されているパソコンで、下記URLより登録
<http://pca.jp/toumoku/>
- ・製品に同梱の「PCAソフトご愛用者カード」に必要事項を記入してFAX

今後ともピーシーエー製品をご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

続行(F5) 終了

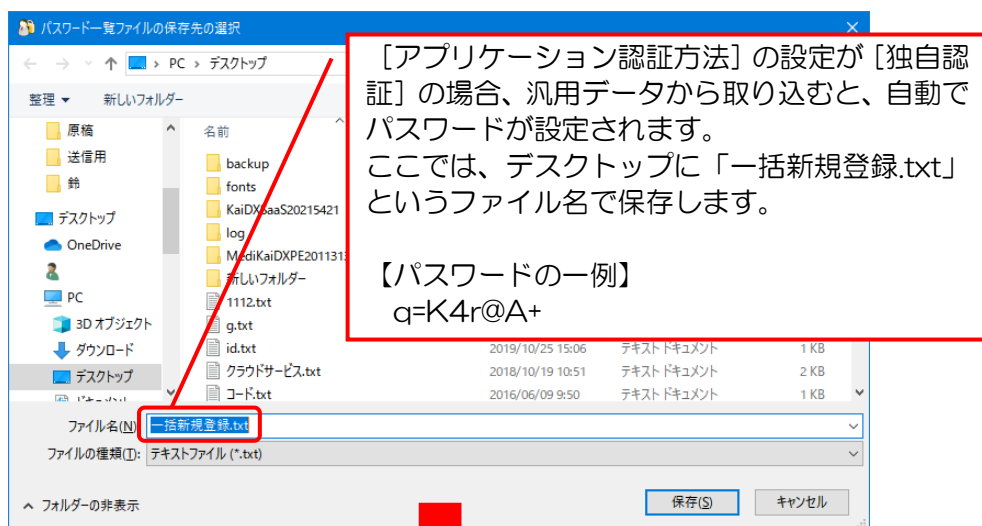
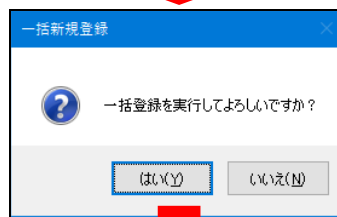
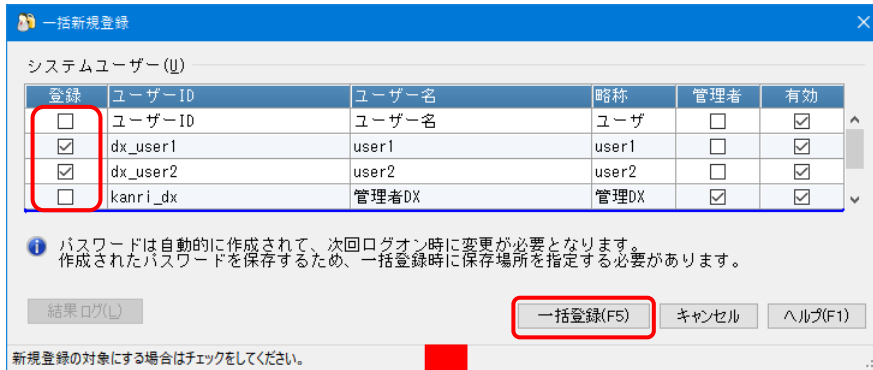
- ② 「データ領域の作成」が表示されますので [会社名] [フリガナ] を入力し、[実行] ボタンをクリックします。

- ③ 「セキュリティ」－「システムユーザーの登録」を起動し、【2.】で確認した [ユーザーID] [ユーザー名] [ユーザー略称] を登録します。
 手で登録する場合は、[新規] ボタンをクリックし、[ユーザーID] など登録してください。
 旧サーバーで作成した汎用データを取り込む場合、ここでの操作は行わず、④へお進みください。

ユーザーID	ユーザー名	ユーザーレベル	有効	初回登録日時	更新日時
kanri_dx	管理者DX	システム管理者	○	2018/10/15 18:05:01	2019/07/01 13:...

- ④ 「システムユーザーの登録」画面にある [一括新規] ボタンをクリックし、[一括新規登録の入力条件] を起動します。

⑤システムユーザーの一覧が表示されますので、登録するユーザーID にチェックをつけ、[一括登録] ボタンをクリックします。



完了のメッセージが表示されましたら、[OK] ボタンをクリックしてください。

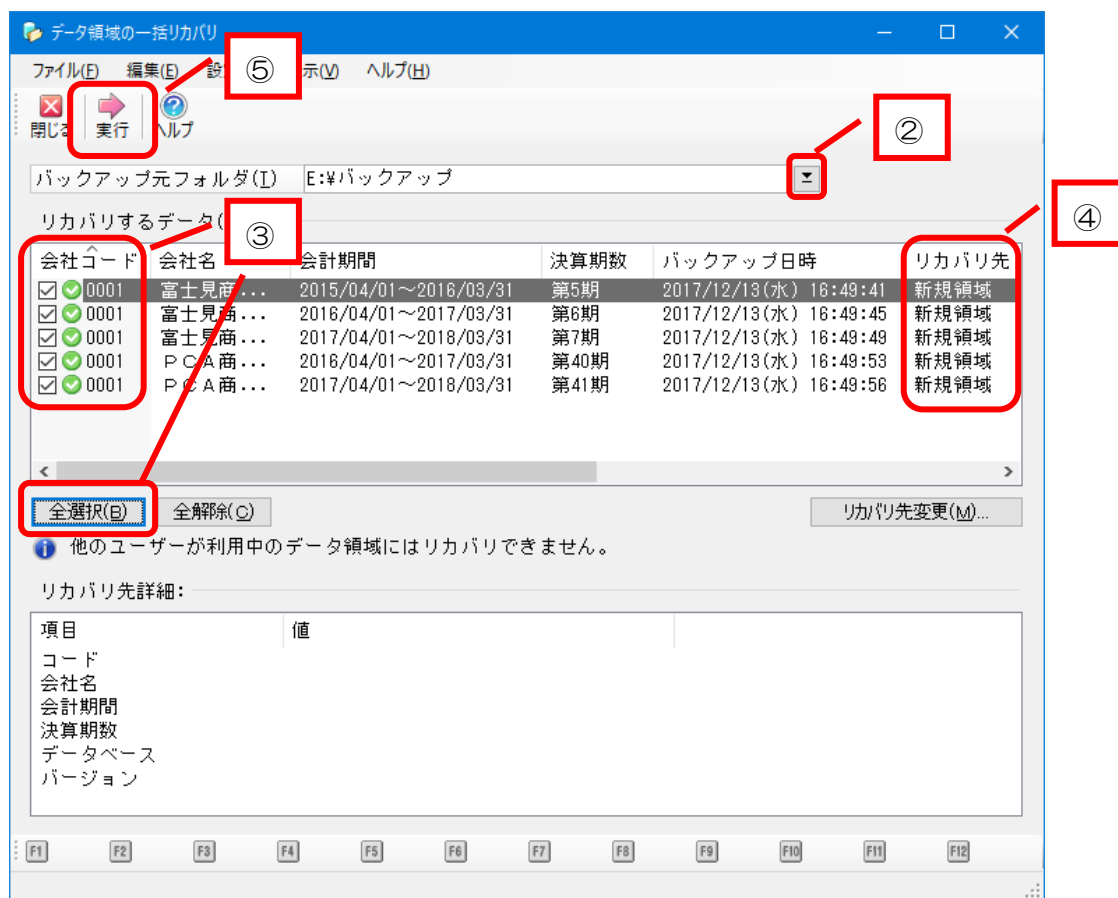
【補 足】

自動で設定されたパスワードは、各クライアントの初回起動時に必要になりますので、保存したファイルを参照し、パスワードをご確認ください。

詳しくは、【8.】でご説明いたします。

6. 新サーバーで「データ領域の一括リカバリ」を実行

① 「ファイル」－「データ領域の一括リカバリ」を起動します。



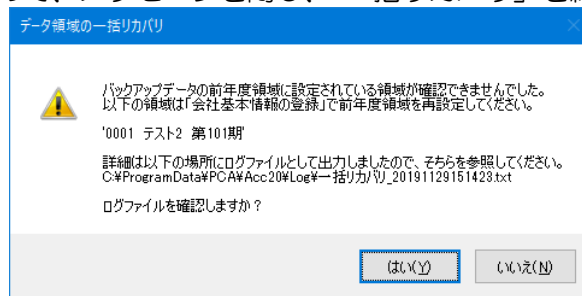
- ② バックアップデータが入っているフォルダを入力、または [▼] ボタンをクリックして選択します。
- ③ [全選択] ボタンをクリックし、全てのデータ領域にチェックを付けます。
- ④ リカバリ先は、[新規領域] が自動表示されます。
- ⑤ ツールバーの [実行] ボタンをクリックすると、バックアップデータがリカバリされます。
リカバリ完了後、必ず、仕訳データや残高等の確認をお願いします。

【補 足】

リカバリ完了後、以下のようなメッセージが表示される場合があります。

ここでは、[(会社コード) 0001 (会社名) テスト 2 第 101 期] の「会社基本情報の登録」で [前年度領域] を再設定するようメッセージが表示されています。

リカバリは完了していますので、メッセージを閉じ、「一括リカバリ」を終了します。



次に、「データ領域の選択」で [(会社コード) 0001 (会社名) テスト 2 第 101 期] を選択し、「会社基本情報の登録」の [前年度領域] の [領域の選択] から前期データ領域 (第 100 期) を選択してください。ログファイルに複数のデータ領域が表示されている場合は、データ領域ごとに [前年度領域] を設定する必要があります。

7. 新サーバーでファイアウォールへの例外設定

新サーバーでファイアウォールを有効にしている場合、「SQL Server」「SQL Server Browser」をファイアウォールの例外に追加する必要があります。

- ① 「スタート」－「Windows システムツール」－「コントロールパネル」を起動します。
- ② 「システムとセキュリティ」－「Windows (Defender) ファイアウォール」を選択し、[Windows (Defender) ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可] をクリックします。
- ③ [別のプログラムの許可] ボタンから、「アプリの追加」画面を起動し、[参照] ボタンから「ファイル名」に「SQLServer」がインストールされているフォルダとファイル名を指定します。

データベース (SQL) のバージョンにより、既定値が変わりますので、下記の内容を参考に「sqlservr.exe」「sqlbrowser.exe」をそれぞれ指定してください。

下線部分は、「SQL Server」セットアップ時に指定したインスタンス名です。

※「Windows」の 64 ビット版をご利用の場合は、下記の「Program Files」が「Program Files (x86)」になることがあります。

※下記“%:” はインストール先ドライブになります。例) c:

《SQL Server 2014 の場合》

%:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL12.PCADB¥MSSQL¥Binn¥sqlservr.exe

%:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥100¥Shared¥sqlbrowser.exe、または

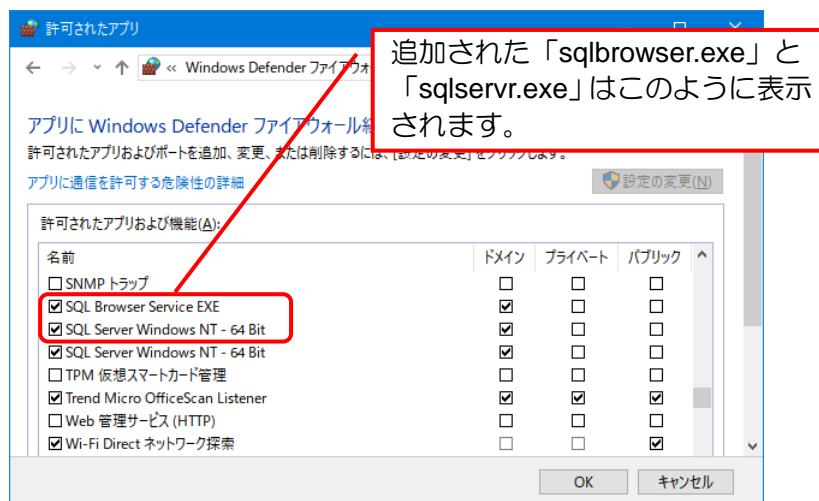
%:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥90¥Shared¥sqlbrowser.exe

《SQL Server 2012 の場合》

%:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL11.PCADB¥MSSQL¥Binn¥sqlservr.exe

%:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥100¥Shared¥sqlbrowser.exe、または

%:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥90¥Shared¥sqlbrowser.exe



8. 各クライアントパソコンで『PCA ソフト』の接続先変更

クライアントパソコンで新サーバーへ接続できるように『PCA ソフト』の接続先の変更を行います。

【注意】

【4.】で新サーバーにインストールした『PCA ソフト』が、旧サーバーのリビジョンより上位の場合は、クライアントの『PCA ソフト』を新サーバーと同じリビジョンにする必要があります。
クライアントで『PCA ソフト』のアップデートを実行し、以下の操作を実行してください。

- ① 「スタート」－「PCA ソフト」－「サポートユーティリティ」－ [データベースサーバー接続設定] 画面を起動します。

[サーバー名] を旧サーバー名から新サーバーのマシン名に変更します。
必要な場合は、[インスタンス名の変更] でインスタンス名も変更することができます。

[接続テスト] ボタンをクリックし、接続テストが成功することを確認します。

設定が終わりましたら、[設定] ボタンをクリックし、「サポートユーティリティ」を閉じます。

- ② 『PCA ソフト』を起動し、使用する領域を選択の上、ご利用ください。

【補 足】

【5.】の操作で、システムユーザーを汎用データで取り込み、自動で設定されたパスワードで起動すると、初回起動時にパスワード変更画面が表示されます。自動設定されたパスワードから覚えやすいパスワードに変更してください。

ログオン時に新しいパスワードへの変更が必要です。

パスワードの変更

ユーザーID dx_user1
新しいパスワード ****
新しいパスワードの確認入力 ****

変更(F6) キャンセル

パスワードは変更されました。